

製品安全データシート

【化学物質等及び会社情報】

会社名 山善製薬株式会社
 住 所 大阪市中央区道修町2丁目2番4号
 担当部門 山善製薬株式会社 滋賀工場
 電話番号 (0748)36-7121 FAX 番号 (0748)36-6519
 緊急連絡先 山善製薬株式会社 学術室
 電話番号 06-6231-1821
 FAX 番号 06-6231-1824

整理番号 3009

作成 2009年 10月 改訂

【製品名】 2%ステリキット

【組成、成分情報】 単一製品・混合物の区別 混合物

成 分	濃 度	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
グルタルアルデヒド	2%	—	(2)-509	—	111-30-8
水	94%	—	—	—	—
その他	4%	—	—	—	—

【危険有害性の要約】

GHS分類（グルタルアルデヒド）

物理化学的危険性 引火性液体 区分外
 健康に対する有害性 急性毒性（経口）区分3
 急性毒性（経皮）区分4
 急性毒性（吸入：蒸気）区分1
 急性毒性（吸入：ミスト）区分2
 皮膚腐食性/刺激性 区分1A
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
 呼吸器感作性 区分1
 皮膚感作性 区分1
 特定標的臓器毒性（単回暴露）区分1（中枢神経）
 特定標的臓器毒性（単回暴露）区分3（気道刺激性）
 特定標的臓器毒性（反復暴露）区分1（気道）
 環境に対する有害性 水生環境急性有害性 区分1
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 劇薬

【応急措置】

眼に入った場合 : 直ちに、15分以上流水で洗浄した後、すぐに眼科医の手当を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って、清水でよく洗い流すこと。
 広範囲に接触した時又は炎症がある時は、医師の手当を受けること。
 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受けること。
 飲み込んだ場合 : 嘔吐させずに、直ちに医師の手当を受けること。

【火災時の措置】

不燃物

【漏出時の措置】

保護具を着用してウエス等で吸取り、密閉容器に収納する。

【取扱い上の注意】

- ・眼、皮膚、衣服に付着させないように注意すること。
 - ・蒸気の吸入を避け、飲み込まないように注意すること。
-

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 未設定
許容濃度 : 日本産業衛生学会 最大許容濃度 0.03 ppm
ACGIH STEL C 0.05 ppm
換気 : 作業環境を許容濃度以下に保つため、局所排気を行うこと。
保護具 : 呼吸 — 防毒マスク
眼 — ゴーグル
手・足 — ゴム手袋、ゴム長靴
-

【物理／化学的性質】

- 外観 : 無色透明の液体
臭気 : 刺激臭
比重 (20℃) : 約 1.01
溶解度 : 水、エタノールと任意に混和する。
-

【危険性情報】

- 引火点 : なし (不燃性)
爆発限界 : なし
-

【有害性情報】

- 誤飲 : 中等度の毒性。口、喉、食道、胃に中等度から強度の刺激性炎症又は薬傷を起こすことがある。胸部及び腹部に不快感又は、痛み、吐き気、嘔吐、下痢、めまい、失神、眠気、虚脱感、かわき、循環器系のショック、昏睡を起こすことがある。
〈注意〉嘔吐の際、肺に吸込むと肺に損傷を及ぼすことがある。
- 皮膚吸収 : 接触が長時間又は広範囲の場合は、危険量を吸収する恐れがある。
- 吸入 : 蒸気は呼吸器官に刺激性があり、鼻や喉の刺痛、鼻汁ないし鼻血、咳、胸部の不快感及び圧迫感、呼吸困難及び頭痛を起こすことがある。
- 皮膚接触 : 短時間の接触により、軽度から中等度の局所の発赤を起こし、腫脹を伴うこともある。長時間の接触では、疼痛、過度の発赤、腫脹、潰瘍、組織破壊、更に炎症部位の出血を起こすことがある。
- 眼接触 : 重度の結膜炎を起こし、結膜の過度の発赤、腫脹と多量の催涙が見られる。重い角膜損傷を生じ、迅速な救急・医療処置がとられない場合は、不治の視力障害となることがある。
- その他 : 反復暴露により累積性皮膚炎を生じ、既存の皮膚炎を更に悪化させる。
蒸気の吸入は、喘息、炎症性/線維性肺疾患を悪化する。
少数の人に対して、皮膚感作を生じ、アレルギー性皮膚炎を起こす。
- 急性毒性 : LD₅₀ = 134 mg (経口、ラット)
(ゲルアルデヒド)
-

【環境影響情報】

- 蓄積性 : データなし
生態影響データ : データなし
-

【廃棄上の注意】

非常に高温で燃焼中の炉内に微細に噴霧するか、適切な可燃性溶媒と混合した後、都道府県条例に従って焼却する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【輸送上の注意】

運送時、容器に液漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

【適用法令】

労働安全衛生法	:	変異原性が認められた既存化学物質 名称等を通知すべき危険物及び有害物
消防法	:	非危険物
海洋汚染防止法	:	有害液体物質
船舶安全法	:	毒物類・毒物
航空法	:	毒物類・毒物
港則法	:	危険物・毒物類
化学物質排出把握管理促進法 (改正PRTTR法)	:	第1種指定化学物質 85号 グルタルアルデヒド 2%

(PRTTR法の対象物質見直しにより、平成20年11月21日に、対象物質の号番号が変更になりましたが、平成21年度のPRTTRデータの届出は、旧番号である66号で届ける必要があります。新番号85号での届出は、平成22年度からとなります。)

【その他】

記載内容の問合せ先

山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号
担当部門 山善製薬株式会社 学術室
電話番号 06-6231-1821
FAX 06-6231-1824

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等にもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

製品安全データシート

【化学物質等及び会社情報】

会社名 山善製薬株式会社
 住 所 大阪市中央区道修町2丁目2番4号
 担当部門 山善製薬株式会社 滋賀工場
 電話番号 (0748)36-7121 FAX 番号 (0748)36-6519
 緊急連絡先 山善製薬株式会社 学術室
 電話番号 06-6231-1821
 FAX 番号 06-6231-1824

整理番号 3010

作成 2009年 10月 改訂

【製品名】 20%ステリキット

【組成、成分情報】 単一製品・混合物の区別 混合物

成 分	濃 度	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
グルタルアルデヒド	20%	—	(2)-509	—	111-30-8
水	40%	—	—	—	—
その他	40%	—	—	—	—

【危険有害性の要約】

GHS分類（グルタルアルデヒド）

物理化学的危険性 引火性液体 区分外
 健康に対する有害性 急性毒性（経口）区分3
 急性毒性（経皮）区分4
 急性毒性（吸入：蒸気）区分1
 急性毒性（吸入：ミスト）区分2
 皮膚腐食性/刺激性 区分1A
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
 呼吸器感作性 区分1
 皮膚感作性 区分1
 特定標的臓器毒性（単回暴露）区分1（中枢神経）
 特定標的臓器毒性（単回暴露）区分3（気道刺激性）
 特定標的臓器毒性（反復暴露）区分1（気道）
 環境に対する有害性 水生環境急性有害性 区分1
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 劇薬

【応急措置】

眼に入った場合 : 直ちに、15分以上流水で洗浄した後、すぐに眼科医の手当を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って、清水でよく洗い流すこと。
 広範囲に接触した時又は炎症がある時は、医師の手当を受けること。
 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受けること。
 飲み込んだ場合 : 嘔吐させずに、直ちに医師の手当を受けること。

【火災時の措置】

不燃物

【漏出時の措置】

保護具を着用してウエス等で吸取り、密閉容器に収納する。

【取扱い上の注意】

- ・眼、皮膚、衣服に付着させないように注意すること。
- ・蒸気の吸入を避け、飲み込まないように注意すること。

【暴露防止措置】

- 管理濃度 : 未設定
許容濃度 : 日本産業衛生学会 最大許容濃度 0.03 ppm
ACGIH STEL C 0.05 ppm
換気 : 作業環境を許容濃度以下に保つため、局所排気を行うこと。
保護具 : 呼吸 — 防毒マスク
眼 — ゴーグル
手・足 — ゴム手袋、ゴム長靴

【物理／化学的性質】

- 外観 : 無色透明の液体
臭気 : 刺激臭
比重 (20℃) : 約 1.11
溶解度 : 水、エタノールと任意に混和する。

【危険性情報】

- 引火点 : なし (不燃性)
爆発限界 : なし

【有害性情報】

- 誤飲 : 中等度の毒性。口、喉、食道、胃に中等度から強度の刺激性炎症又は薬傷を起こすことがある。胸部及び腹部に不快感又は、痛み、吐き気、嘔吐、下痢、めまい、失神、眠気、虚脱感、かわき、循環器系のショック、昏睡を起こすことがある。
〈注意〉嘔吐の際、肺に吸込むと肺に損傷を及ぼすことがある。
- 皮膚吸収 : 接触が長時間又は広範囲の場合は、危険量を吸収する恐れがある。
- 吸入 : 蒸気は呼吸器官に刺激性があり、鼻や喉の刺痛、鼻汁ないし鼻血、咳、胸部の不快感及び圧迫感、呼吸困難及び頭痛を起こすことがある。
- 皮膚接触 : 短時間の接触により、軽度から中等度の局所の発赤を起こし、腫脹を伴うこともある。長時間の接触では、疼痛、過度の発赤、腫脹、潰瘍、組織破壊、更に炎症部位の出血を起こすことがある。
- 眼接触 : 重度の結膜炎を起こし、結膜の過度の発赤、腫脹と多量の催涙が見られる。重い角膜損傷を生じ、迅速な救急・医療処置がとられない場合は、不治の視力障害となることがある。
- その他 : 反復暴露により累積性皮膚炎を生じ、既存の皮膚炎を更に悪化させる。
蒸気の吸入は、喘息、炎症性/線維性肺疾患を悪化する。
少数の人に対して、皮膚感作を生じ、アレルギー性皮膚炎を起こす。
- 急性毒性 : LD₅₀ = 134 mg (経口、ラット)
(ゲルアルデヒド)

【環境影響情報】

- 蓄積性 : データなし
生態影響データ : データなし

【廃棄上の注意】

非常に高温で燃焼中の炉内に微細に噴霧するか、適切な可燃性溶媒と混合した後、都道府県条例に従って焼却する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【輸送上の注意】

運送時、容器に液漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にすること。

【適用法令】

労働安全衛生法	:	変異原性が認められた既存化学物質 名称等を通知すべき危険物及び有害物
消防法	:	非危険物
海洋汚染防止法	:	有害液体物質
船舶安全法	:	毒物類・毒物
航空法	:	毒物類・毒物
港則法	:	危険物・毒物類
化学物質排出把握管理促進法 (改正PRTTR法)	:	第1種指定化学物質 85号 グルタルアルデヒド 20%

(PRTTR法の対象物質見直しにより、平成20年11月21日に、対象物質の号番号が変更になりましたが、平成21年度のPRTTRデータの届出は、旧番号である66号で届ける必要があります。新番号85号での届出は、平成22年度からとなります。)

【その他】

記載内容の問合せ先

山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号
担当部門 山善製薬株式会社 学術室
電話番号 06-6231-1821
FAX 06-6231-1824

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等にもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
